

日誌

日誌 04月21日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	服薬指導
	10:00	薬歴記載
	11:00	調剤
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	服薬指導
15:00	薬歴記載	
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(10)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(10)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(10)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(10)名	

日誌

日誌 04月21日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>＜実習目標＞ アセスメントをより深く考える</p> <p>＜実習内容＞ 調剤 一包化 処方監査</p> <p>＜実施した内容・調べたこと＞ MIC 軽度認知障害 認知症 種類 アルツハイマー 脳血管型認知症 レビー小体型 アルコール ビタミン性 ステロイド 強さ フルオロメトロンよりサベントゾンの方が強い 在宅酸素療法 hot</p> <p>＜考察・感想＞ 抗生物質が1週間以上出ている場合は、急性疾患ではなく、慢性疾患を疑い、症状を聞こうと思った。また、ステロイドの点眼の服薬指導では、花粉症など長期間で使うものであれば、抗アレルギー点眼薬のサブとして説明し、炎症がひどい場合はしっかり使用していただくことを伝えようと思った。</p>
----------	--

日誌

日誌 04月21日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月21日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	粉薬を量る際は、袋に入っている量が正しいと仮定して、端数の部分を量る。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月22日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
	10:00	調剤
	11:00	評価
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	災害時医療
15:00	災害時	
16:00	振り返り	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月22日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

薬物療法の問題点を見つける

＜実習内容＞

調剤

関節リウマチ 服薬指導

災害時医療 講習

＜実施した内容・調べたこと＞

リウマチ 減量方法2016 ガイドライン

1ステロイドをまず減量

2従来型抗リウマチ薬を併用している場合に、生物学的製剤の減量を考慮できる

3寛解の状態が長期間続いていれば、従来型抗リウマチ薬の投与量を、慎重に減量することを考慮してよい

＜考察・感想＞

今日は、災害時医療の話をついた。災害時には、医薬品や医療従事者の人手不足が問題になるものと考えていたが、OTC医薬品や薬剤師が過剰だったことを知り、医療物資がどこにどの程度配属されているか共有をする役割の人やシステムが必要だなと考えた。今回、学んだ災害時医療の話から、災害時には、救護所で医師の指示に従って薬を調剤するだけでなく、自主的に薬や体調の相談を行ったりして、被災者に安心感を与えられるような薬剤師になりたい。

日誌

日誌 04月22日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	○
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	○
	5	【④災害時医療と薬剤師】	○
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月22日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	関節リウマチの患者さんの服薬指導の際にメトトレキサートの継続使用では、口内炎や胃腸障害がないか、葉酸の薬をメトトレキサートと同じタイミングで飲めているかなど、聞いた方が良いことがたくさんあったと思う。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月23日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	薬歴記載
	10:00	狭心症
	11:00	心不全
	12:00	休憩
	13:00	一包化
	14:00	監査
	15:00	一包化
16:00	糖尿病針	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(2)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月23日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

ガイドラインを参照する

＜実習内容＞

調剤

一包化

処方監査

＜実施した内容・調べたこと＞

徐脈性不整脈 ペースメーカー

DOACやワーファリン

心原性脳塞栓症や深部静脈血栓症に用いられる

狭心症 冠動脈が狭くなる

Ca拮抗薬やアスピリン

DOACはほとんど入れない

下肢静脈血栓症→肺 右心室→肺へ行くため

心房細動 血栓→脳か肺

糖尿病 針 痛み

メマンチン 増量していく

＜考察・感想＞

今日は、狭心症の患者さんの処方監査を行なった。ジルチアゼム、ジゴキシン、リクシアナが処方されていたが、どのような流れで処方がされたのか考えた。狭心症で血管を広げるためにまずは、ジルチアゼムが処方され、その後心不全傾向になった際にリクシアナとジゴキシンが処方されたのだと考えられる。また、不整脈は心電図を測って薬を判断するため薬局で関わるのが少ないとのことだった。心不全、狭心症、不整脈の違いがあまり分かっていなかったなので、薬から疾患の進行度合いを理解できるように勉強しようと思った。

日誌

日誌 04月23日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月23日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	インスリン注射の服薬指導では、空打ちをすること、打ってから5秒待つこと、毎回打つ場所を変えること、打ち終わったあと針ケースを取り付ける際にまっすぐ被せて指を怪我しないようにすること、未使用のものは冷蔵庫、開始後のものは室温で保管すること、残量を再注入する際はダイヤルを変更しないこと、低血糖の予防法と対処法を伝えるべきだと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月24日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	リウマチフィードバック
	10:00	点眼薬 服薬指導
	11:00	薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	薬歴記載
	14:00	調剤
15:00	フィードバック	
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 04月24日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習内容>

調剤

加齢黄斑変性後 点眼薬

RLS 緑内障 点眼薬

服薬指導

<実施した内容・調べたこと>

油水分配係数 水溶性だと腎排泄の確率が高い

ジクロフェナク cox1, 2阻害

生物学的製剤を初めるには、結核菌保有していないか検査必要

プレドニン 用量 夜が少ない理由は、体の副腎皮質ホルモンと同じ放出量にするため

外用薬のコンプライアンスチェックも大事

目薬 5mlで約100滴 1日2回 25日分

インスリン 注射薬 空打ちの回数を削除する

ヒアルロン酸 日新 塩化ベンザルコニウム

<考察・感想>

今日は関節リウマチの服薬指導の際の、フィードバックを行った。患者さんは、リウマチの値が下がってきていることから、薬を減らしたいとお考えだったが、先生が怖いとおっしゃっていた。

リウマチ薬の減量のガイドラインを見てみると、まずステロイドを減量し、その後、生物学的製剤の減量、最後に従来型抗リウマチ薬の減量を考えると記載されていたため、メトトレキサートの減量を難しいかなと思った。その後、生物学的製剤は外来の抗体のため、メトトレキサートなどで免疫を抑制しないと、注射薬に対しての抗体ができてしまうことを知った。生物学的製剤を使っているかどうかは、お薬手帳に記載されていないことが多いので、薬剤師が関節リウマチ薬の減量考えるのは難しいなと思った。

また、外用薬のコンプライアンスについて、日数が決まっていないことから、注意してみていなかったが、緑内障や白内障など継続して使い続けないと症状が進行してしまう病気では、点眼薬の用量と本数からコンプライアンスのチェックをしないといけないと思った。

日誌

日誌 04月24日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月24日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	外用薬のコンプライアンスについて、日数が決まっていないことから、注意して みていなかったが、緑内障や白内障など継続して使い続けないと症状が進行して しまう病気では、点眼薬の用量と本数からコンプライアンスのチェックをしない といけないと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月25日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	錠剤 粉碎
		賦形
	10:00	散剤 調剤
	11:00	吸入薬 服薬指導
	12:00	休憩
	13:00	薬歴記載
	14:00	散剤 調剤
15:00	フィードバック	
16:00	初回 服薬指導	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	

日誌

日誌 04月25日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習内容> 散剤 調剤 吸入薬 初回 高コレステロール血症 服薬指導</p> <p><実施した内容・調べたこと> 小児 散剤 一方あたりで考える風習なし 散剤 作り置き 考えること 処方頻度 使用期限 捨てた時いくらかかるか 散剤 さじを入れてはいけない コンタミネーション防ぐため 錠剤 粉碎 一包0.2g以上 賦形する pMDI 加圧式定量噴霧 薬の噴射と吸い込むタイミングを合わせる 初回 服薬指導</p> <p><考察・感想> 今日は錠剤の粉碎と賦形、散剤の作り置きを行った。また、吸入薬と初回の患者さんの高脂血症の服薬指導を行った。 錠剤の粉碎と賦形では一包が0.2g以上になるように賦形しなければならなかったが、錠剤の粉碎だけして、忘れてしまっていた。 また、散剤の作り置きでは、処方頻度を確認せず、計ってしまった。 また吸入薬の服薬指導ではアドエアは使ったことありますか？とご質問したところ、あると思うよ、シュッシュってやるものならとお答え頂いた。あ一同じようなものを使ったことがあるんだなと思って、説明書を用いながら息を吐いて吸うことや息を止めることを説明した。その後、フィードバックを頂いた際に、多分患者さんpMDIは使ったことはあるけど、DPIはないよと教えて頂いた。しっかり、患者さんの話を理解して、深く吸い込んでもらうように説明した方がよかったなと感じた。</p>
----------	--

日誌

日誌 04月25日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月25日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	錠剤の粉碎と賦形では一包が0.2g以上になるように賦形しなければならなかったが、錠剤の粉碎だけして、忘れてしまっていた。 また、散剤の作りおきでは、処方頻度を確認せず、計ってしまった。 散剤の作り置きでは処方頻度、小児用量、使用期限、一包の値段を確認する。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席、早退 14日の振り替え	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
	10:00	脳梗塞 既往歴 服薬指導
		薬歴記載
	11:00	調剤
	12:00	不眠 服薬指導
	13:00	薬歴記載
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習内容＞

調剤

脳梗塞後 服薬指導

不眠症 服薬指導

＜実施した内容 ・調べたこと＞

脳梗塞後 認知機能の低下

＜考察・感想＞

今日は脳梗塞後の患者さんに服薬指導を行った。シロスタゾールやアスピリンが処方されていたので、歯ブラシの際に出血することがないか確認した。また処方薬が多かったのでコンプライアンスを確認した。自分で薬はカレンダーにセットしていることや、カレンダーの予定通りの来局からコンプライアンス良好と考えた。また、血圧が100ちょっととお答えしていただいたが、正確な数字は聞き取ることが出来なかった。その後フィードバックでは、お会計の動作のスムーズさから脳梗塞後の認知機能の低下はないと考えられることを教えて頂いた。コミュニケーションや歩き方などでアセスメントを行ってきたが、お会計の動作などで認知機能の確認ができることを学ぶことができ、患者さんの一挙一動を見逃さないようにしようと思った。

日誌

日誌 04月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	血圧の値を教えて頂いたが、100ちょっとという答えでは、血圧コントロールが 適当かどうか分からないのでもう少し詳しく聞けば良かった。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月27日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 04月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月27日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	